

サービス見込み量等の進捗管理

計画値：令和5年度、実績値：令和6年3月末			
		(	12ヶ月分)

ステップ1：認定率の比較

		(%)			差異について考えられる要因やその確認方法
		計画値	実績値	差異	
要介護認定率		17.2%	17.1%	0.1%	
年齢階級	前期高齢者	0.0%	3.7%	-3.7%	計画段階で、前期、後期の区分で分けた数値が想定されていないため、比較できない。
	後期高齢者	31.0%	27.4%	3.6%	計画段階で、前期、後期の区分で分けた数値が想定されていないため、比較できない。

ステップ2：利用者数の比較

サービス名		単位	計画値	実績値	達成率 (実績値/ 計画値)	乖離 の有無	現状の分析とその確認方法 課題、対応の必要性について
居宅サービス	訪問介護	人/月	425	405.33	95%		
	訪問入浴介護	人/月	36	29.33	81%		
	訪問看護	人/月	234	282.08	121%	乖離あり	訪問リハビリテーション等からの代替サービスとして選択された可能性が高い。また、市内でも12カ所整備されていることから利用しやすいことも考えられる。
	訪問リハビリテーション	人/月	39	27.17	70%	乖離あり	訪問看護サービスによるリハビリで代替可能であることが理由として考えられる。また、訪看事業所は市内でも12カ所整備があるため利用しやすい環境にある。
	居宅療養管理指導	人/月	439	470.25	107%		
	通所介護	人/月	596	566.00	95%		
	通所リハビリテーション	人/月	168	202.50	121%	乖離あり	利用者数が増加しているが金額は減っている件について、認定者の分布が、要介護3までの軽度者の増加幅が大きいことが理由として考えられる。(最重度者に比べリハビリ効果が期待でき、給付額も低めの者が増えた)
	短期入所生活介護	人/月	148	153.17	103%		
	短期入所療養介護（老健）	人/月	3	1.08	36%	乖離あり	過去の実績から3人の利用を見込んでいたが、月によりばらつきがあったため。
	短期入所療養介護（病院）	人/月	0	0.08			市外での利用実績が1件あったため。
	福祉用具貸与	人/月	828	1080.00	130%	乖離あり	利用者数は増加しているが金額は見込通りである。要介護3までの軽度の認定者の利用が大きく、比較的金額ベースの低い用具が多く利用されたこと、また、コロナによる制限が徐々に緩和したことで、移動にまつわる用具(比較的安価なもの)が多く利用されたことが理由として考えられる。
	特定施設入居者生活介護	人/月	92	65.67	71%	乖離あり	隣市の特養が開設したことや、市内に代替となり得る有料老人ホームが多いことから利用分散したため。
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	人/月	2	2.00	100%		
	夜間対応型訪問介護	人/月	0	0.00			
	認知症対応型通所介護	人/月	1	1.00	100%		
	小規模多機能居宅介護	人/月	36	27.50	76%	乖離あり	公募して1施設増設の予定であったが、応募が無く、利用者数が乖離している。第9期も引き続き公募する予定。
	認知症対応型共同生活介護	人/月	41	38.58	94%		
	地域密着型特定施設入居者生活介護	人/月	0	0.00			
	地域密着型介護老人福祉施設	人/月	0	0.00			
	看護小規模多機能型居宅介護	人/月	0	0.00			
	地域密着型通所介護	人/月	110	79.50	72%	乖離あり	廃止となった事業所が多かったため。
施設サービス	介護老人福祉施設	人/月	328	338.42	103%		
	介護老人保健施設	人/月	138	140.33	102%		
	介護医療院	人/月	40	41.33	103%		
	介護療養型医療施設	人/月	1	0.00	0%	乖離あり	介護医療院への移行が完了したため。
介護予防支援・居宅介護支援		人/月	1,572	1484.67	94%		

保険者番号	232330
保険者名	清須市

認定者数

		(人)
		計画値
		2,806
		0
		2,806

第1号被保険者数

		(人)
		計画値
		16,283
		7,233
		9,050

利用回数

		(回/月)
⇒	計画値	実績値
	7.2	8.083333333
	達成率	112%
		実績値 (年度累積)
		97

利用回数

		(回/月)
⇒	計画値	実績値
	995.7	596.5833333
	達成率	60%
		実績値 (年度累積)
		7,159

実績値 (年度累積)
4,864
352
3,385
326
5,643
6,792
2,430
1,838
13
1
12,960
788
24
0
12
330
463
0
0
0
954
4,061
1,684
496
0
17,816

ステップ3：受給者1人あたり給付費の比較

		(円/月)			
サービス名		計画値	実績値	差異	差異について考えられる要因やその確認方法
居宅サービス	訪問介護	105,190	114,636	-9,446	
	訪問入浴介護	68,905	66,422	2,483	
	訪問看護	46,894	41,070	5,824	
	訪問リハビリテーション	38,581	30,231	8,350	要介護3までの軽度の利用者が比較的多く、リハビリという特性上、状態の回復などには個人差が大きいため、効果が想定より高かったと考えられる。
	居宅療養管理指導	13,165	13,430	-265	
	通所介護	98,716	91,101	7,615	
	通所リハビリテーション	69,385	47,671	21,715	要介護3までの軽度の利用者が比較的多く、リハビリという特性上、状態の回復などには個人差が大きいため、効果が想定より高かったと考えられる。
	短期入所生活介護	147,852	118,523	29,329	利用者数の実績は計画値通りであることから、軽度の利用者が多く、重度の利用者は隣市の特養が開設したことで入所したと思われる。
	短期入所療養介護（老健）	129,389	139,191	-9,802	
	短期入所療養介護（病院）		22,472		市外での利用実績が1件あったため。
	福祉用具貸与	13,052	9,783	3,269	比較的金額ベースの低い用具が多く利用された。また、コロナによる制限が徐々に緩和したことで、移動にまつわる用具(比較的安全なもの)が多く利用された。
	特定施設入居者生活介護	201,981	182,173	19,808	
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	139,917	237,401	-97,484	住所地特例者の利用が想定以上だったため。
	夜間対応型訪問介護				
	認知症対応型通所介護	91,333	101,478	-10,145	
	小規模多機能居宅介護	169,164	189,708	-20,543	
	認知症対応型共同生活介護	254,343	271,933	-17,589	
	地域密着型特定施設入居者生活介護				
	地域密着型介護老人福祉施設				
	看護小規模多機能型居宅介護				
	地域密着型通所介護	61,629	42,358	19,270	1人あたりの利用回数が、新型コロナウイルスの影響により著しく減少したため。また、計画期間中に廃止となった事業所が複数あったため。
施設サービス	介護老人福祉施設	278,475	274,652	3,823	
	介護老人保健施設	278,787	274,983	3,804	
	介護医療院	399,954	357,944	42,011	
	介護療養型医療施設	342,833			介護医療院への移行が完了したため。
介護予防支援・居宅介護支援		12,918	13,167	-249	

給付費

(円/年)			(%)
計画値	実績値	対計画値	
536,468,000	557,587,183	104%	
29,767,000	23,380,654	79%	
131,679,000	139,023,110	106%	
18,056,000	9,855,343	55%	
69,352,000	75,786,222	109%	
706,019,000	618,758,477	88%	
139,881,000	115,839,320	83%	
262,586,000	217,846,013	83%	
4,658,000	1,809,481	39%	
0	22,472		
129,689,000	126,792,911	98%	
222,987,000	143,552,539	64%	
3,358,000	5,697,612	170%	
0	0		
1,096,000	1,217,738	111%	
73,079,000	62,603,570	86%	
125,137,000	125,904,937	101%	
0	0		
0	0		
0	0		
81,350,000	40,409,892	50%	
1,096,077,000	1,115,361,645	102%	
461,672,000	463,071,878	100%	
191,978,000	177,539,985	92%	
4,114,000	0	0%	
243,685,000	234,587,182	96%	

ステップ4：サービス提供体制に関する現状と課題（地域密着の整備についても含め）

8期計画期間は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用回数の乖離が見られるサービスが複数存在していた。昨今の情勢を踏まえ、9期計画は利用者数や給付費の見込みの修正を行ったところである。
8期計画から日常生活圏域を4か所に見直しを行ったため、今後も各地域の実情に応じた地域密着型サービスの整備を行っていくことが課題となっている。

ステップ5：地域密着型サービスの整備状況

		(%)			
サービス名		計画値 (8期中)	整備数 (R6.3末)	達成率 (整備数/計画値)	現状、整備を図るうえでの課題・整備見込
地域密着型 サービス	定期巡回・随時対応型 (施設数)	0	0	0%	現在、市内に事業所は無いが、市外事業所の利用者があるため次期計画に向けて、施設整備の一環の中で、整備の検討が必要。
	夜間対応型訪問介護 (施設数)	0	0	0%	—
	認知症対応型通所介護 (施設数)	0	0	0%	—
	小規模多機能居宅介護 (施設数)	2	1	50%	昨年公募を実施したが、不調となった。既存の事業所の登録者数が定員に達しつつあるため、9期計画期間中も引き続き公募を実施する。
	認知症対応型共同生活介護 (定員数(人))	3	3	100%	市内4圏域中3圏域での整備が完了した。既存の事業所の登録者数が定員に達しつつあるため、9期計画期間中での整備を目指す。
	地域密着型特定施設入居者生活介護 (定員数(人))	0	0	0%	—
	地域密着型介護老人福祉施設 (定員数(人))	0	0	0%	市内に広域型施設が3か所整備されているため、充足しているとする。
	看護小規模多機能型居宅介護 (施設数)	0	0	0%	—
	地域密着型通所介護 (施設数)	5	3	60%	8期計画期間中に計画目標数に達したが、新型コロナウイルス等の理由により事業所が廃止となった。今後は需要を鑑みて整備を検討する。